

# 第81期 決算説明会

蛇の目マシン工業株式会社

2007年5月18日

## 将来予想に関する注意事項

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

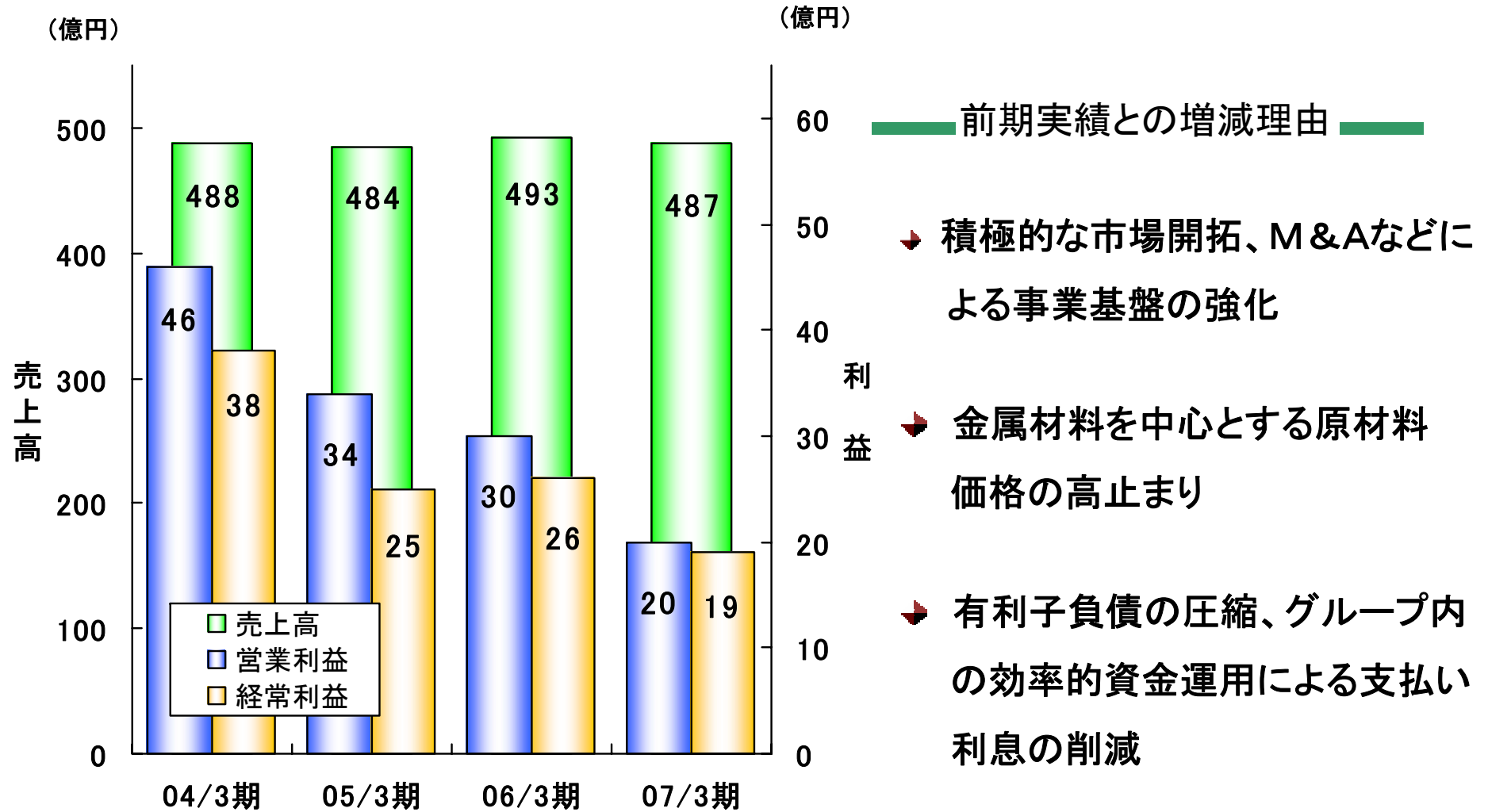
# 2007年3月期 連結決算概要

2007年3月期 業績概要 ①

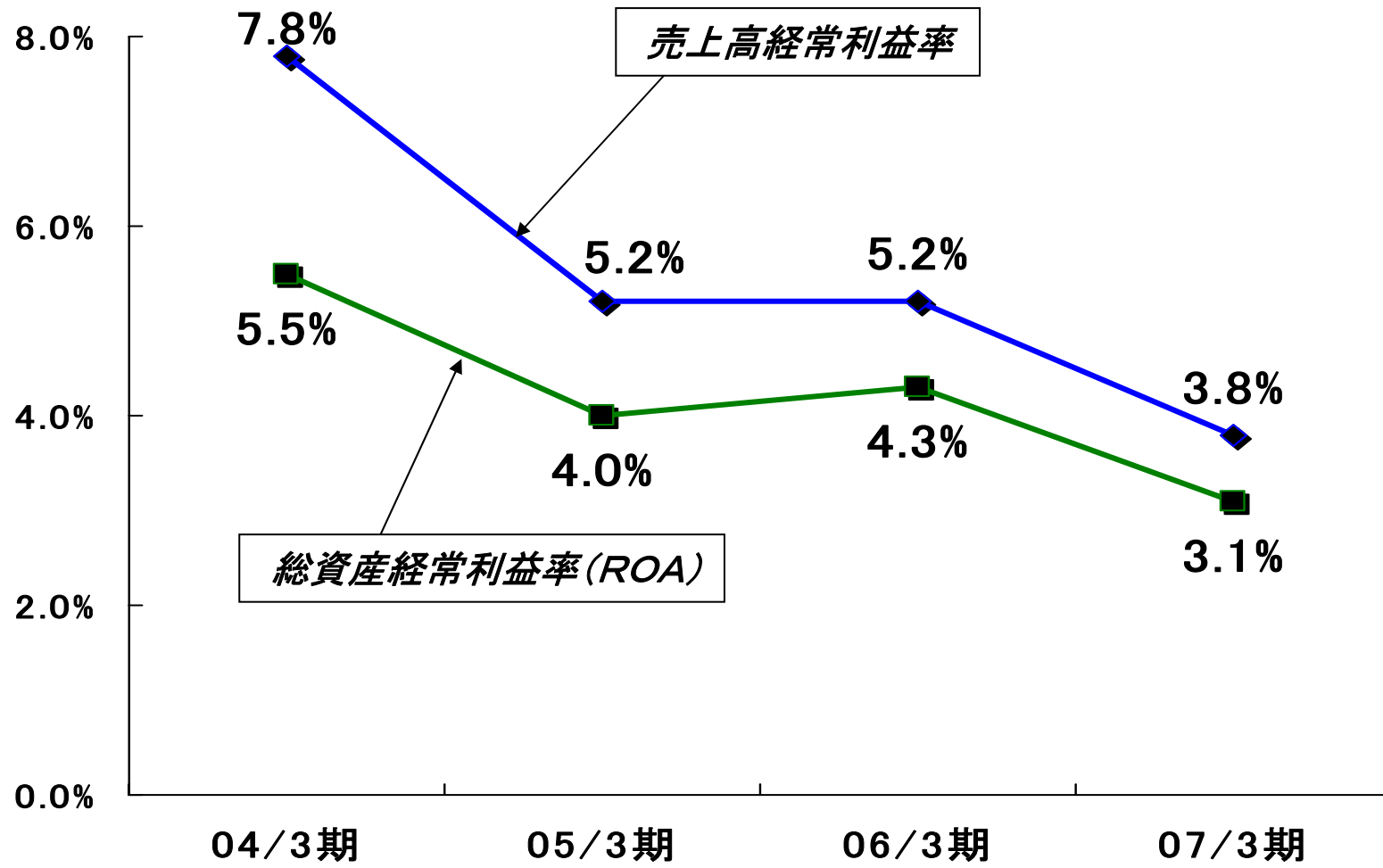
単位：億円、%

区 分	2004年3月期 実績	2005年3月期 実績	2006年3月期 実績	2007年3月期 実績
売上高	488	484	493	487
営業利益	46	34	30	20
営業利益率	9.5%	7.1%	6.1%	4.1%
経常利益	38	25	26	19
経常利益率	7.8%	5.2%	5.2%	3.8%
当期純利益	20	▲45	24	4.6

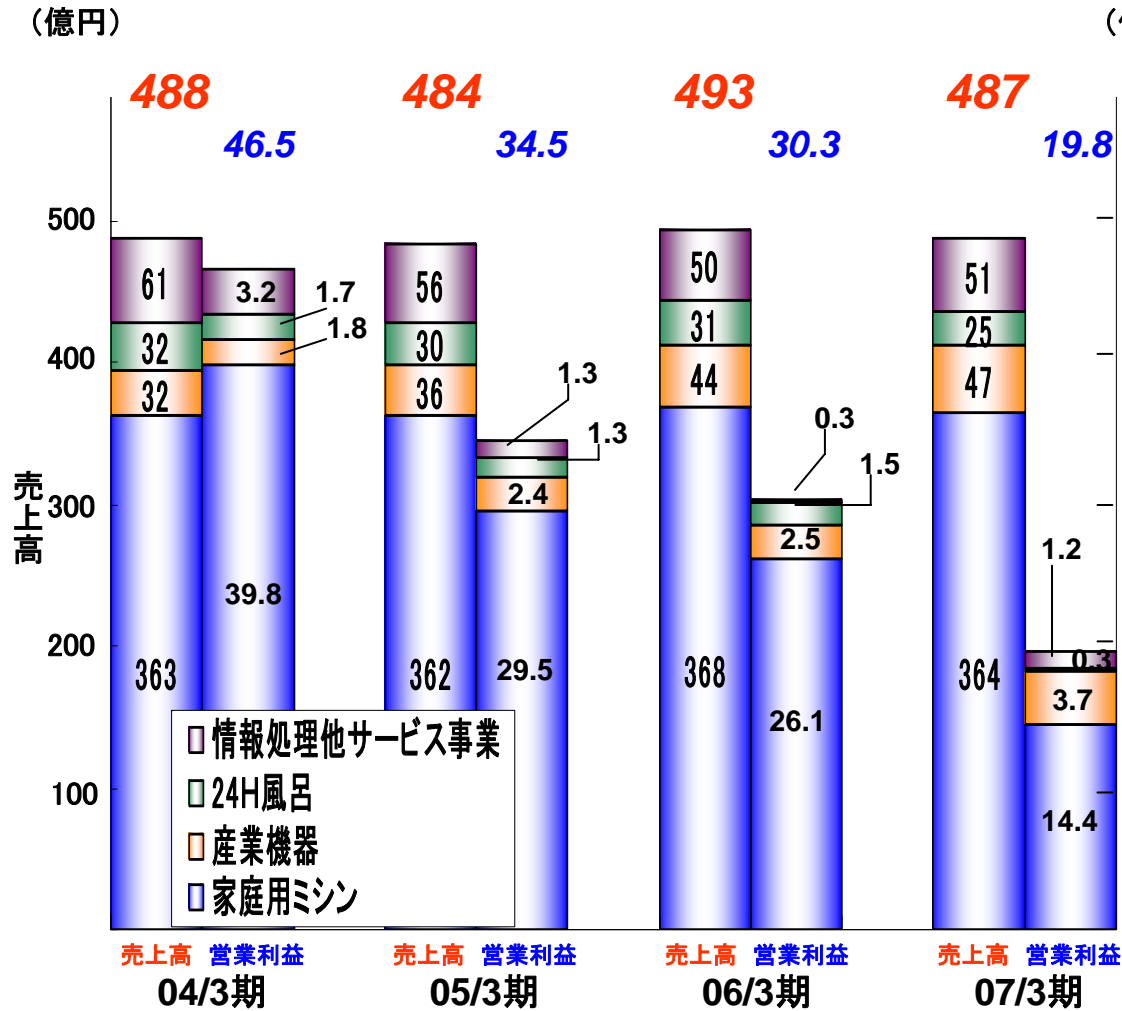
## 2007年3月期 業績概要 ②



経常利益率・ROAの推移



## セグメント別売上高・営業利益の推移



(億円)

### 前期実績との増減理由

#### <ミシン事業>

- 中南米、中近東地域の順調な新規開拓の進展があった一方、北米量販店向けの販売不振
- 買収した「エルナ」の販売体制整備の遅れ
- 国内営業における外部環境の変化
- 低価格機種分野を中心とした競争激化

#### <産業機器事業>

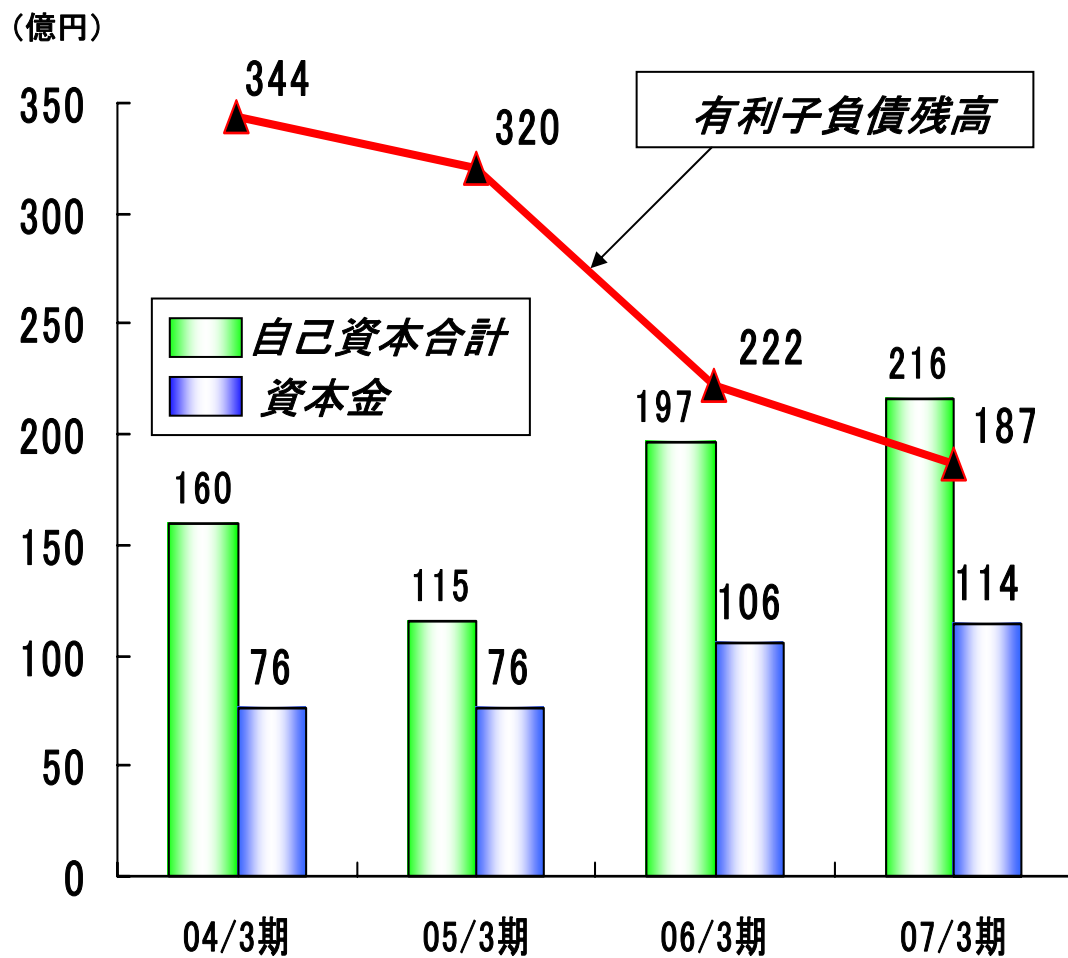
- 卓上ロボット、エレクトロプレスは、自動車関連業界、欧州連合向け輸出品に関する有害物質使用規制対応関連を中心として引続き好調

## 貸借対照表の推移

単位：億円

区 分		04/3期実績	05/3期実績	06/3期実績	07/3期実績
資産の部	流動資産	219	207	260	239
	固定資産	457	394	341	356
	資産合計	676	601	601	595
負債の部	流動負債	385	209	209	172
	固定負債	126	272	189	200
	負債合計	511	481	398	372
純資産の部	資本金	76	76	106	114
	剰余金	39	▲5	49	61
	純資産合計	165	120	203	223
発行済株式数（千株）		152,441	152,433	188,536	195,214

## 自己資本、有利子負債残高の推移



06/3期に25億円のMSCBを3回発行、その結果、資本金は05/3期比約38億円増加

自己資本の充実

有利子負債残高の削減



営業利益増減の内訳

単位：百万円

区 分	06/3実績	07/3実績	増減	要因	
				増加	減少
売上高	49,376	48,729	▲647	為替:1,075	その他:▲1,722
売上原価	25,063	25,584	521	為替:1,260 材料費:340	その他:▲1,079
販売管理費	21,278	21,159	▲119	—	その他:▲119
営業利益	3,034	1,985	▲1,048	—	為替:▲185 材料費:▲340 その他:▲523

※増減要因欄の「その他」は売上減少、及びミシンの低価格化

2007年3月期実績と  
JUMP-2 PLANとの比較  
(決算期変更およびエルナ分調整)

単位：億円、%

区 分	2007年3月期 実績	決算期変更 および エルナ分	計	JUMP-2 PLAN (1年目)	決算期変更 および エルナ分	計
売 上 高	475	12	487	500	15	515
営 業 利 益	21	▲0.6	20	34	—	34
営業利益率	4.4%	—	4.1%	6.8%	—	6.6%
経 常 利 益	20	▲0.8	19	28	1	29
経常利益率	4.2%	—	3.8%	5.6%	6.6%	5.6%
当期純利益	5.5	▲0.9	4.6	12	0.5	12.5

# 2008年3月期 計画

2008年3月期 業績計画

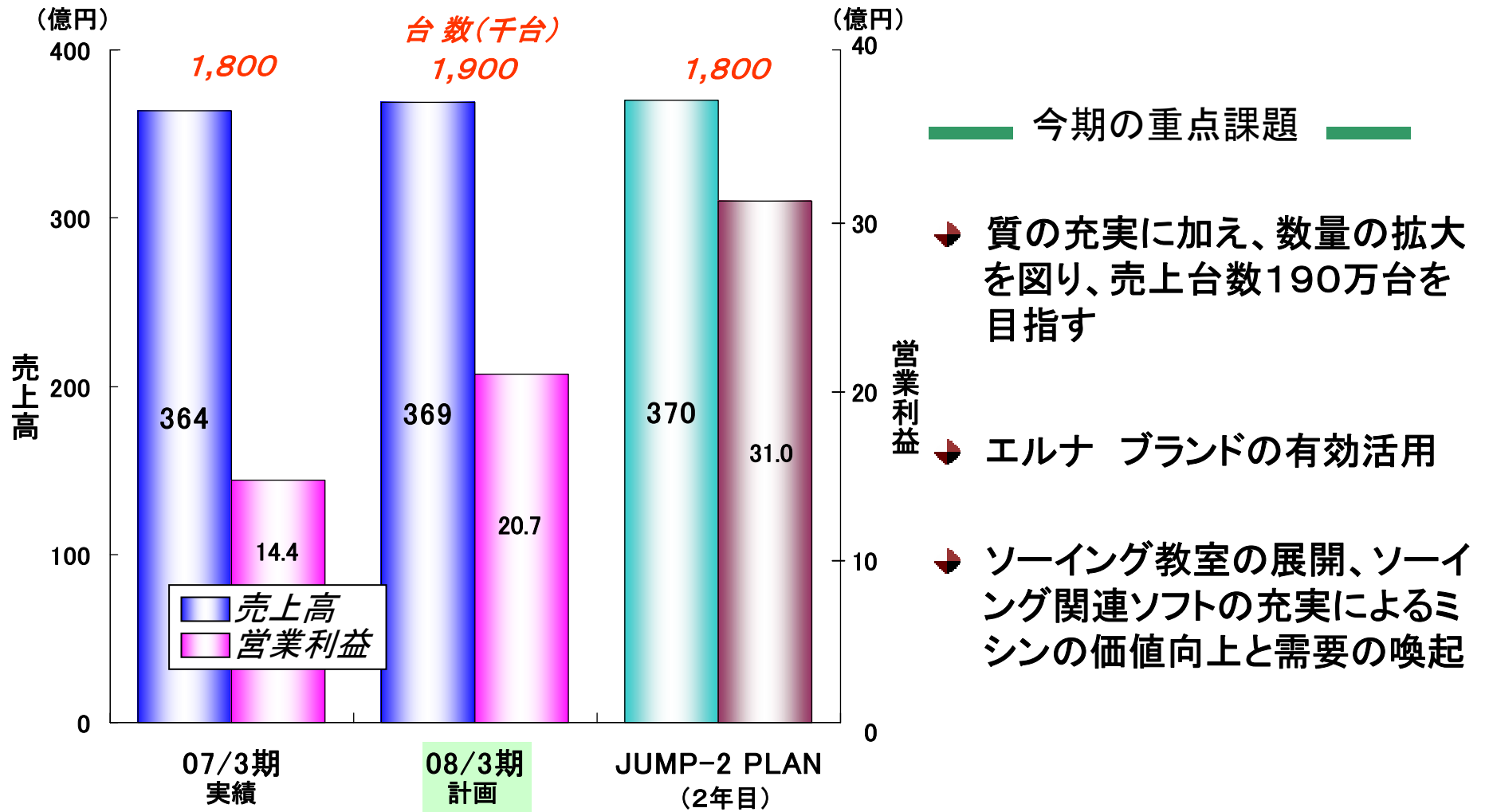
単位：億円、%

区 分	2007年3月期 実績	2008年3月期 計画	JUMP-2 PLAN (2年目)
売 上 高	487	500	515
営 業 利 益	20	28	40
営業利益率	4.1%	5.6%	7.8%
経 常 利 益	19	24	36
経常利益率	3.8%	4.8%	7.0%
当期純利益	4.6	10	17

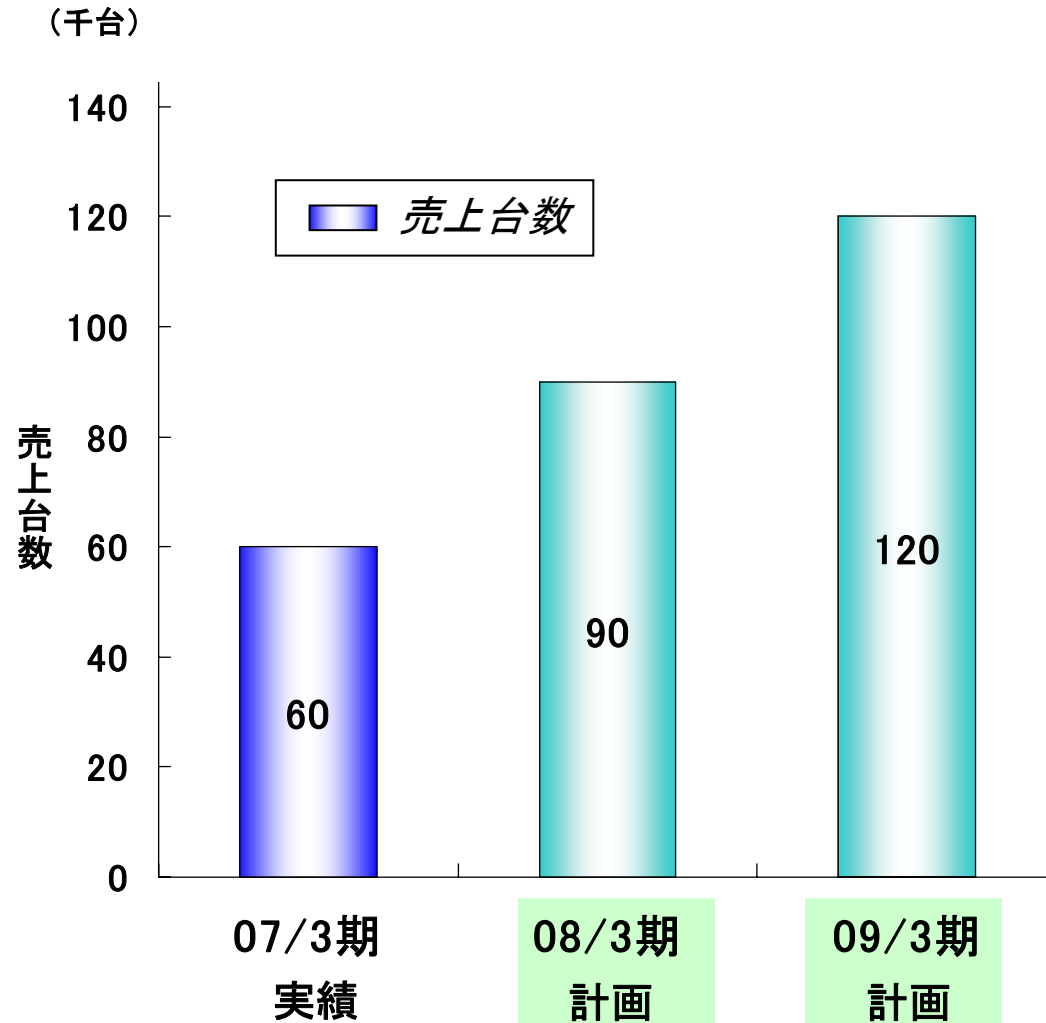
## 今期の重点施策

- ミシン販売拡大を目指して、  
エルナブランドの有効活用
- 産業機器事業の強化
- 全体最適生産体制の整備
- グローバルな原材料・  
部品購買体制の整備
- 商品のタイムリーな開発と  
生産効率UPへ向けた生産設備投資など

## 家庭用ミシン事業



## エルナブランドの有効活用



### エルナ有効活用

- ➡ エルナブランド専門部署を新設し、販売体制を強化
- ➡ 海外子会社でもエルナブランドの取り扱いを開始
- ➡ エルナブランドのミシン販売数量を、09/3期に倍増(07/3期比)を目指す

国内販売(訪問販売)の整備

法令に則った  
正しい販売の徹底



職種構成を見直し、少人数でのローコスト・オペレーションを図る

◎直営支店の員数推移

単位:店、名

		2005年3月	2006年3月	2007年3月
店舗数		158	158	158
員数	販売員	930	868	623
	S A	152	143	274
	内勤	201	179	116
	合計	1,283	1,190	1,013

➡ 多能化を図るため、支店事務員のSA(ソーイングアドバイザー)への職種変更を行い、研修会の計画的実施等、社内教育を推進

※全て各期末の数値



## 国内販売体制の整備



↑  
“ショップ吉祥寺”での教室風景

“2007日本ホビーショー”での教室風景



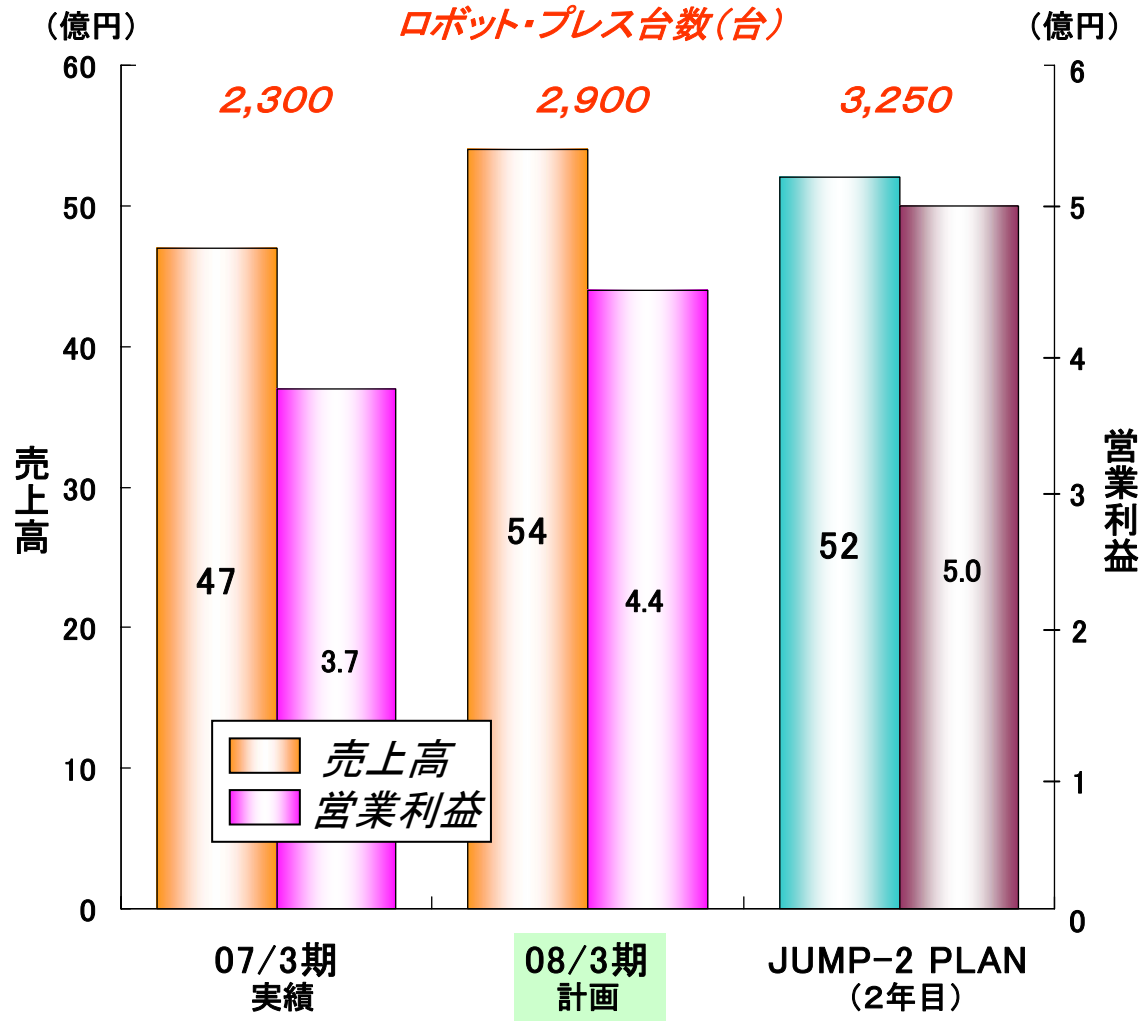
### 整備のポイント

- ソーイング教室の展開とパターン事業を含む、ソーイング関連ソフトの充実
- 関連する展示会等への出展



お客様にソーイングの“楽しさ”を広め、  
ミシンの持つ価値の向上と需要の喚起に努める

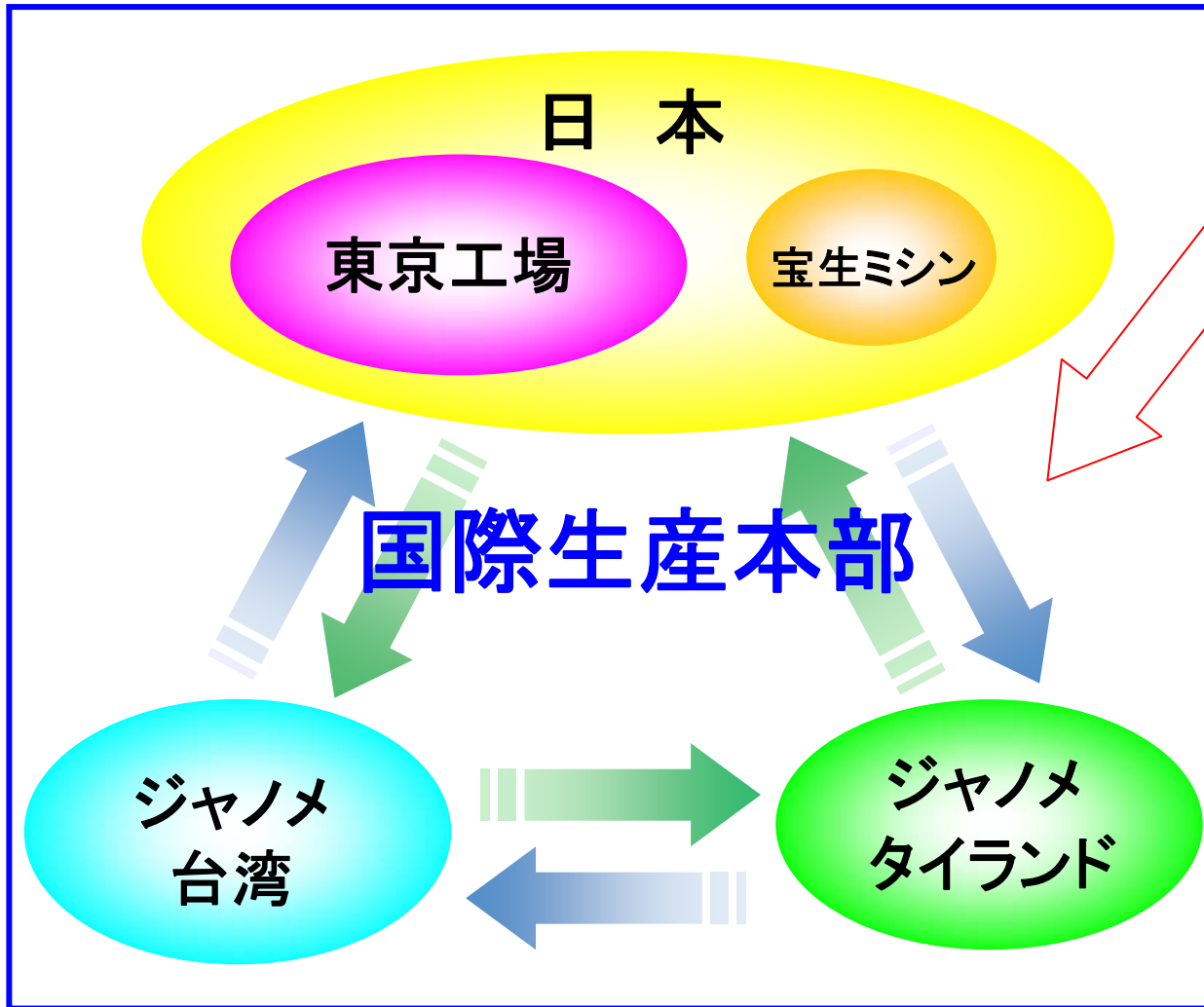
## 産業機器事業



### 今期の重点課題

- 販売、サービスの強化のため、国内拠点(大阪、名古屋、九州)の拡充と、海外拠点(アメリカ、ドイツ)の新設
- アプリケーションの充実へ向けた、コラボレーションの推進

全体最適生産体制と  
グローバルな原材料・部品購買体制の整備



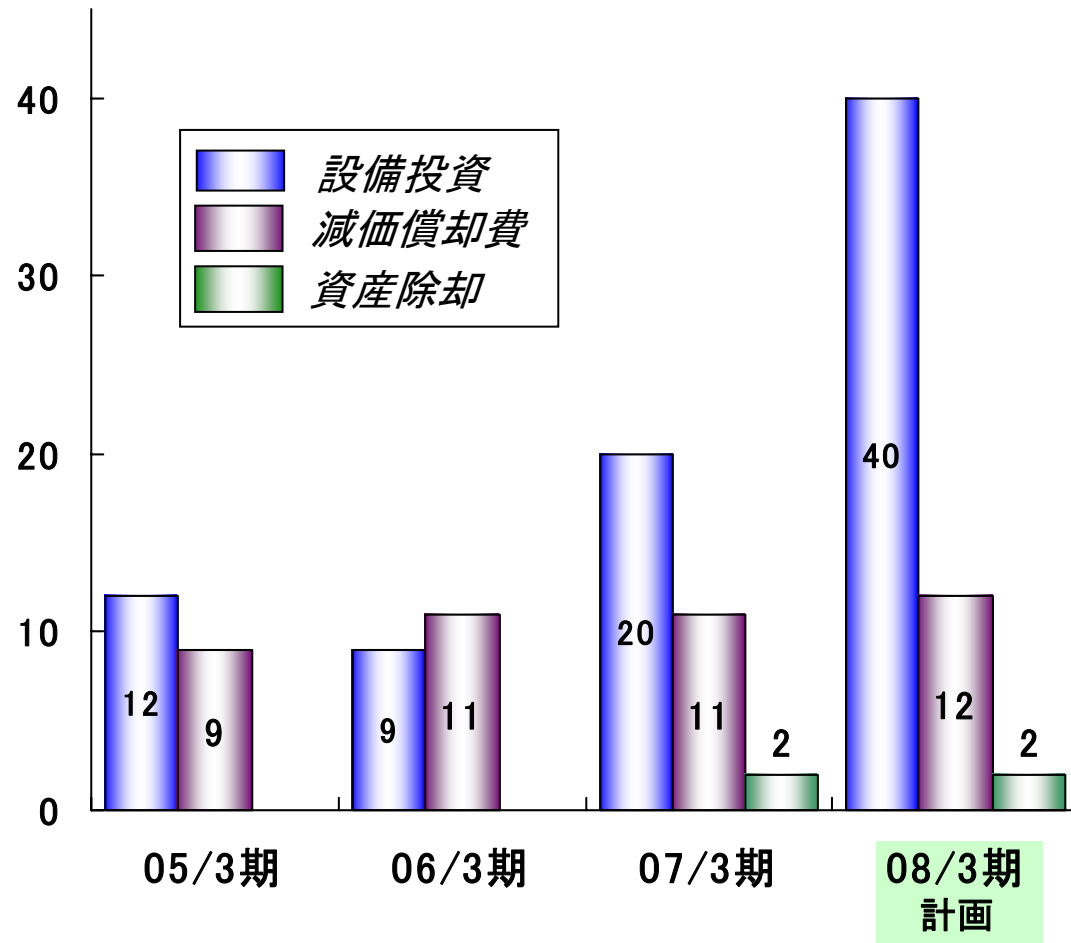
原材料・部品等

整備のポイント

- 合理的、かつ効果的な購買体制の構築
- 生産の平準化
- トータルコストの低減  
(原材料価格の高止まりに対応)
- お客様のニーズに迅速に対応

## 設備投資・減価償却費の計画

(億円)



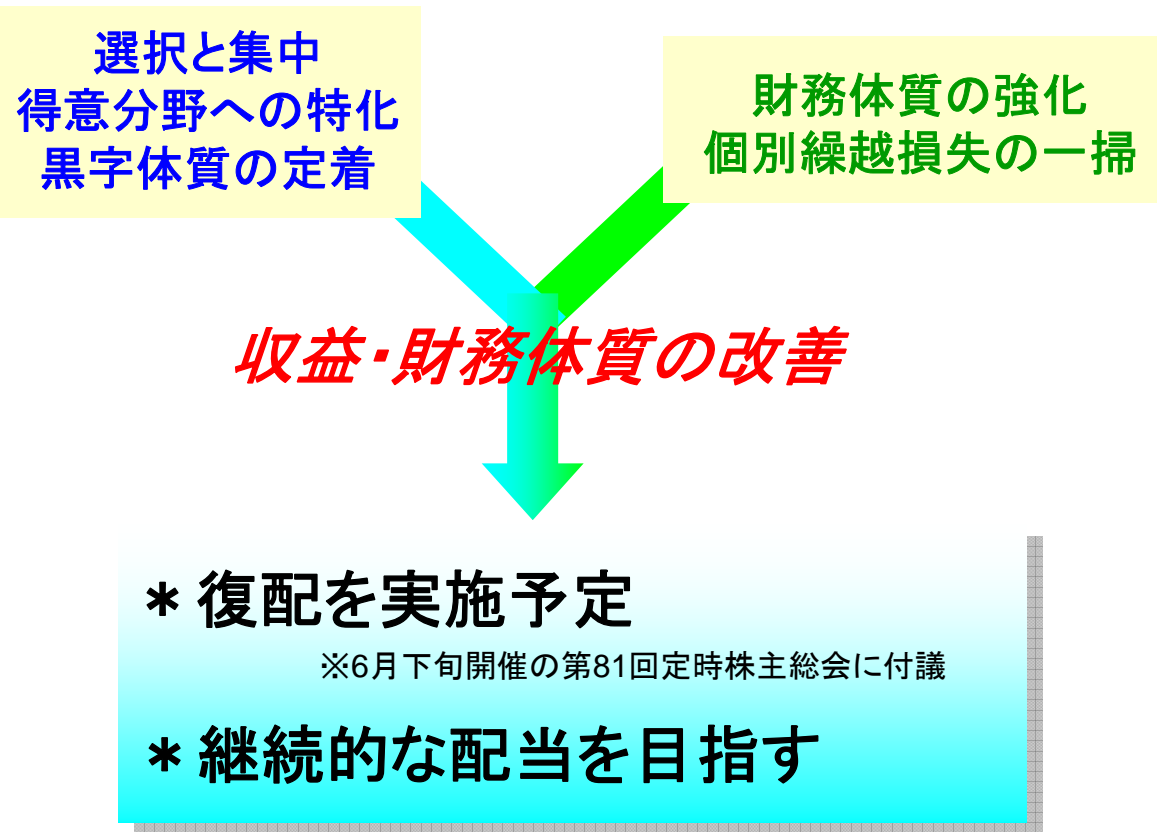
### 今期計画のポイント

- ➡ 市場のニーズに合わせた商品のタイムリーな開発
- ➡ 東京工場、ジャノメダイカストを始めとする生産設備の新設・更新
- ➡ 自社所有支店建物の改築・改装

# トピックス

## 配当(復配)について

当社は長期にわたり無配を継続してまいりましたが、収益・財務体質の改善により復配体制が整ったことから、2007年3月期(平成19年3月期)において、一株当たり2円の配当を実施する予定です。



# 蛇の目マシン工業株式会社